



■ 2014-2015 R I 会長：ゲイリーC.K. ホアン  
 ■ R I 第 2570 地区ガバナー：坂本 元彦  
 ■ 会長：加藤 国夫 幹事：滝沢 文夫  
 ■ 例会日：木曜日 12:30～13:30  
 ■ 例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール  
 Tel. 04-2963-1111

■ 会報委員長：石川 嘉彦 ■ 当番：石川 嘉彦  
 ■ 事務所：〒358-0023  
 入間市扇台 3-3-7 ハイソ斎竹 101 号  
 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788  
 Email: iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

## 第 3 号 2822 回例会 2014 年 7 月 17 日 (木)

## &lt;ビジター・ゲスト&gt;

第 2570 地区第 3 グループ ガバナー補佐  
 狭山中央ロータリークラブ 沼崎 正徳 様

●●● 会長の時間 加藤国夫会長

本日は沼崎正徳ガバナー補佐をお迎えいたしまして来週のガバナー訪問に備えての心構えについて卓話を頂ける事と楽しみにしております。

12 日に米山記念奨学部門セミナーに出席をさせて頂きました。坂本ガバナーの話を借りますと米山記念奨学学生事業は 50 年以上の歴史を持っている事業で日本だけが持っている他地区共同のプログラムであり、外国からの奨学生を受け入れて、その目的は国際理解と親善である。そして平和への取り組みその、最も誇らしい事業だとも言っていました。2012, 13 年の統計ですと大体 700 名位の受け入れです。そして年間事業費は 13 億 6000 万だったそうです。これだけの事業を行うという事になると、地区の方々の支援と皆様の理解を頂けないと達成できない事業だという事で、ご寄付の協力をお願いしたいと強く申しつきました。も一つは米山梅吉記念館の経営がうまく行っていないという話でした。

金子千侍 P G から米山記念事業の発足に付いての話がありました。この事業は 1952 年に東京クラブ会長であった古沢良作氏の発案で、当初の目的は外国から「東洋圏国」の中から推薦してもらって 2 年間の留学をして頂き自国に帰ってから日本で学んだ事を紹介してもらうと言う事で、米山記念に話をして寄付を募ったところ大変な寄付が集まったようです、大変良い事だという事で 2 名の留学生を受け入れることになった。たまたまタイからの留学生が東大農学部に入ったそうですが其時にインドから 2 名の留学生がすでに農学部に入って苦学していたそうで、それなら 1 名の奨学金で 2 名を援助。ピースが 40 円の時に 10 円足して 50 円で年間 600 円を会員から出しましょうという事で 1958 年に 8 名の方を採用し始まってそうです。

最後に奨学生 16 名のスピーチでしたが、奨学生の共通している事は奨学金を頂いていることに大変感謝している、そして学生生活の終わった後は母国と日本の架け橋になりたいとも話していました。中々流暢な日本語で発表をされて居るのには感心させられました。最後の寄付金のお願いの話をして終る人もいて勉強している事が窺えました。

## ● 幹事報告 滝沢文夫幹事

1. 各テーブルのお菓子は宮岡陽子様のお土産です。
2. ガバナー公式訪問時について クラブブレザー、クラブタイの着用をお願いします。(写真撮影の時) 集合時間等詳細は事務局より FAX します。
3. 7/15(火) 夏の交通事故防止運動出陣式 粕谷会長エレクト、滝沢幹事で出席してきました。市長以下 100 名ほどの出席があり大変盛況でした。
4. 8/2(土) フレッシュロータリアン研修準備会 研修リーダー宮寺会員出席予定  
9/13(土) フレッシュロータリアン研修 狭山市立勤労福祉センター 12 時半 豊田・木下・馬路・田中・後藤(健)各会員参加予定 詳細 FAX します。

## ● 委員長報告

## ロータリー美術館

## 山岸義弘委員長

ガバナー公式訪問時の恒例である、ロータリー美術館への出品宜しくお願い致します。

## ■ 地区米山奨学委員会

## 忽滑谷明委員長

部門セミナーでは、加藤会長の報告以外に委員会より今年度の予定、卓話依頼等がありました。

## &lt;ニコニコBOX&gt;

## 忽滑谷明 S A A

平岡達也君～沼崎ガバナー補佐ようこそ 日本一の第 3 グループにして下さい。加藤国夫君、滝沢文夫君、岩崎茂君、山岸義弘君、細淵克則君、吉永章子君、粕谷康彦君～沼崎ガバナー補佐ようこそお出で下さいました 卓話宜しく申し上げます。忽滑谷明君～沼崎ガバナー補佐ようこそ 先日の米山部門セミナーではご出席有難うございました。

本日 ¥9,000 累計 ¥83,000



私は生まれも育ちも狭山市広瀬水富で昭和 17 年生まれ現在 72 歳です。工業大学を卒業し明治乳業にエンジニアとして勤め、今から 12 年前に実家に戻り R C に入会。今回ガバナー補佐と言う役を仰せつかり戸惑いの毎日です。私の所属する狭山中央 R C は第 3 グループの中で一番歴史の浅いクラブで一昨年 20 周年を迎え、先日 1,000 回目の例会を行いました。

本日私は例会の前に各種書類の点検をさせて頂きました。帳簿類は事務局さんのきちんとしたお仕事により、整備されており楽に点検できました。年度計画書では加藤会長の本年度目標「温故知新」は論語にある意味深い内容です。増強・親

睦、奉仕、楽しむ、家庭、それぞれの項目を大切にしようと言う事を会員の皆さんが思い続けて戴ければ素晴らしいクラブになると思います。又、ガバナーから公式訪問時の各委員会の活動計画説明にお願いが有ります。加藤会長様は R L I 方式、即ちディスカッション方式で中身を検討するとおっしゃられています。ガバナーはそれが望ましいと言われておりますが、初めての試みですから肩を張らずにやって下さい。

次に会員増強と退会防止についてですが、会員の減少傾向は、殆どの先進国における現象で会員増強は R I の最重要課題です。黄会長は会員家族の入会、さらに定年退職している元会社重役や高級官僚もお誘いするよう仰っています。自営業者ばかりの集まりに新しい風が期待できるのではないかと思います。退会防止につきまちは早い時期からクラブの役をやって頂くのが効果的だと思います。炉辺会合によるマンツーマンの指導が最良ですが、自ずから働きかけてこそ、その楽しさ、その価値が分り理解できると思います。ぶら下がっているだけでは面白くないし、むしろ止めるための理由探しの日々とも言えます。クラブに対して自分が出来たその実績が、その後クラブを愛しクラブを盛り上げて行く力になると思います。

今から 4 年前、新所沢 R C の磯田ガバナー補佐の時に会長をさせて頂き、その年度の I M で「オズボーン街の奇跡」と言う寸劇をやりました。この寸劇が私のロータリーへの想いに大きく影響を及ぼしたのです。脚本は新所沢バスト会長目黒さん、出演は 1 2 クラブの会長幹事でした。この劇の中でロータリーの原点に触れた思いがしました。それはロータリーと言う職業奉仕とは何だと言うことです。私の役はドナルドと言う特許技師、今でいう弁理士さんでしょうか。彼は R C に革命的な変革をもたらす提案をしました。それまでの R C は異業種同士が集まって自分の仕事の話をし、将来を語りそして友情を育てるものでした。ドナルドはそれに対し、「このような集まりではこの会は長続きしないし発展もしない。今までとは違う、会としての活動を遣らなければいけない！それは社会、即ち町に対する「奉仕」だと思ふ。今町は発展しつつあり、更に色々な利便性を求めおり、それに対し自分たちは何が出来るか考えよう」と提案しました。この提案に対し、R C の発案者であるポールハリスも含めてメンバーからは意見百出、中々纏まらなかった様です。結論から言うと、R C はこの提案を受け入れ、最初はシカゴの町に公衆便所を作り、その後の R C の大きな発展に繋がり、世界に広がる奉仕する団体の基礎になったのです。

弁護士ポールハリスは毎日仕事に打ち込んでいるがたった一人で何とも淋しい。他業界にも同様に仕事に苦労しながら孤独と戦っている人たちがいるに違いないと考え、自分の事務所を会場に毎週集まるクラブを作り、後に集まる所をメンバーの事務所を次々に巡ることにした事からロータリークラブという名前が生まれたようです。そしてその会は一業種一名とし、それぞれが町一番の業者になることを目標に、そして会の同僚に対してはその職業の全力を尽くすと約束したわけです。これ即ち職業奉仕の原点と言えると思います。世の中が変わって今、職業奉仕が 100 年あまり前のシカゴとはかなり違うそういう時代に、私たちは何が出来るのかはかなり難問と言えますが公正な取引をし、信頼できる町一番の店を目指そうと言う考え方は今も全く同じ解釈ができると思います。

私は現役時代には各地に牛乳、ヨーグルト、アイスクリーム、粉ミルク工場の機械装置の設計をしました。いつも日本国内はもちろん世界に負けない工場を目指しました。これらの仕事の中で一番嬉しかったのはヨーグルト工場に関する事です。その理由はヨーグルトが人の健康にとっても良いと言うことが有ったからです。そこで今日はヨーグルトに関するお話を皆様にさせて頂いた訳ですが、これも職業奉仕の活動と思い、今まで何度か講演をさせて頂いています。来年 6 月末までガバナー補佐として何度かクラブを訪問させて頂くとこになります。よろしくお付き合いをさせて頂いて下さい。

<出席報告>

木下登委員

会員数	出席数	出席率	前回修正率
39 名	28 名	75.5%	89.4%

事前欠席連絡 4 名

■回覧、配布物

- ①茶の香めーる Vol. 53
- ②既定の例会の取消し 制定案 07-11
- ③ハイライトよねやま 172
- ④ガバナー月信 6 月以降の会員追加と表彰者一覧
- ⑤加藤会長より「温故知新」解説プリント
- ⑥7/24 ガバナー公式訪問出欠表
- ⑦7/31 新旧役員慰労激励会出欠表
- ⑧7/26 R 財団環境クリーン作戦出欠表
- ⑨他クラブ週報&例会変更のお知らせ ⑩週報 2 号

最後に RLI について先週に引き続き石川嘉彦バストガバナーから RLI について説明を頂きました。

会報・雑誌委員会 (石川・森田・荒井・関谷)